

はろはろ

発行元：地域おこし協力隊
発行・令和2年9月1日

「はろはろ特別号」とは？

協力隊の各々が「はろはろ」の記事にしきれなかつた活動・イベントのお知らせ・特別伝えたい事などを伝える特別な号となります。

こんにちは、しもです。協力隊として田人町に来てから、**1年と1ヶ月**が過ぎました。田人町の皆さんのお陰で活動がスムーズに行え、田人町ライフが少しづつ板についてきました。**本当にありがとうございます。**

そんな私ではありますが、いわきに来ることになったきっかけも、協力隊として活動するきっかけも、妻が教えてくれました。

そして、妻も私同様（それ以上に！）**田人町の皆さんと町づくりをした生活をしていきたい**と考えており、そんな妻を少しでも田人町の皆さんに知つていただければなあ。と思い、今回インタビュー形式で紹介をさせていただきます。

「下條　由美子さん」

インタビュー

しも..今年の5月に田人町へ引っ越してきましたが、田人町の生活はどうですか？

由美..田那が地域おこし協力隊ということで、たくさんの方々にお会いしましたが、みなさん温かく迎えてくれて、自然にも囲まれていい町だなあと日々感じています。

しも..普段はどんなことをしてますか？お仕事は？

由美..田那が地域おこし協力隊として、たくさんの地域の人にお会いしましたが、みなさま温かく迎えてくれて、自然にも囲まれていい町だなあと日々感じています。NPOに所属しているのですが、現在は「ロナ禪で休業しています。10月から仕事に復帰しますが、田人町からモートで仕事をしていきます。将来的には、田人町でもボランティアの受け入れをして、町づくりと一緒にやつていきたいなって考えています。

しも..ボランティアに田人町へ来てもらうんですか？

由美..はい、都

市部や海外から若者を呼んで、耕作放棄地や手入れされていない山林などの整備活動を続的にやっていく仕組みを作れない



趣味は、絵描き・手帳作りなどです。手帳作りでは、知人・友人から依頼をされ、その人の要望や雰囲気に合わせた絵柄を書いて作っています。そのため「世界に一つだけの手帳」だそうです。

かなど考えています。整備された場所を活用して、野菜生産や子どもの遊び場づくりなどに発展させていけるといいなと。現在、団体設立の準備をしていて、自然を活かした活動を通して、地域の人と外からの若者が交流できる場をたくさん作っていきたいと思っています。

しも..活動の第一歩として、「ふくしまチャレンジラ If推進事業」という県の事業を担当することになったようですが、どんな事業ですか？

由美..浜通りの3地域（檜葉、久ノ浜、田人）で行われ、県外の若者を町に呼び込むことを目的とした事業です。3泊4日で、その地域ならではの「じじと」や「暮らし」を体験することを通して、地域の方と若者が一緒に活動する場を創ります。今回、事業を企画している方とのご縁があって、田人町のじじと・暮らし体験を計画する地域コーディネーターをやってみないかと、私にお声掛けいただきました。

しも..どんな体験を企画していますか？

由美..田人町には、たくさんの山林と田畠があり、自然にあふれています。なので、林業や農業に従事されている方々のお手伝いができる場を創れたらと思っていました。また、地域おこし協力隊ががんばって運営してくれている「ミニユニティカフェ」「HITO-TABI」でのお手伝いもできるといいですね。他にも、こんにゃく作りや味噌づくりなど、田人らしい暮らしを体験する場を作りたいです。

